

| 指 導 技 術 | | 観 点 別 の 授 業 改 善 の 視 点 | | | | |
|---|--|--|--|---|---|---|
| 教 師 の 指 導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導など) | | 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度 を 向 上 さ せ る た め の 手 だ て | 話 す ・ 聞 く 力 を 向 上 さ せ る た め の 手 だ て | 書 く 力 を 向 上 さ る た め の 手 だ て | 読 む 力 を 向 上 さ せ る た め の 手 だ て | 言 語 事 項 に 関 す る 知 識 ・ 理 解 力 を 向 上 さ せ る た め の 手 だ て |
| 導 入 | <p>(授業規律)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席を徹底させ、始業の態勢を作らせる。 ・教材の準備、忘れ物の確認を行い、忘れた生徒への対応をする。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらい(課題)を板書し、ノートに(ノート指導)書かせ、意識させる。 <p>(指導技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材に関わる実物や写真などを提示する。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時のポイントを確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業のポイント を想起させた後、本時の 課題を明確にして、本時 の内容への興味をもた せる。 ・教材の内容に関する写 真や実物などを提示し、 内容への興味を引き出 す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集中して話を開ける ような教室環境を整 える。 ・重要度を知らせるた めに、話す際の声の大 きさや、抑揚を工夫し たり、体での表現など を取り入れたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・条件やテーマを明確 にする。 ・書き始めなどの簡単 な例を提示する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容の重 要ポイントを想起 させ、その後本時 の課題を知らせ、 読みのポイントを つかませる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字小テストを実 施し定着を図る。 ・書写におけるその 時間のポイントを理 解させる。 |
| 展 開 | <p>(指導技術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材に応じたワークシートや冊子を作成する。 ・スタンプカードや記録表など学習の成果やステップがわかるようにし、達成感をもたせる。 ・小グループによる話し合いの場を設け、様々な読みや考え方を知り合えるようにする。 <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問の後に考える時間を十分確保する。 <p>(ノート指導)・板書をノートに書く時間を必ず確保する。</p> <p>(個別指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文に印を付けたり、ノートに書く作業中には、机間指導を行い、助言を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・正解やまちがいにこだ わらず、さまざまな考え や読みが可能であるこ とを知らせ、授業環境を 整え、進んで読もう、考 えようとする態度につ なげる。 ・スタンプカード等を用 い、意欲を引き出す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの話し 合い活動の中で、「話 す」「聞く」場面を多く もつ。 ・定期的に聞き取りテ ストを実施し、その解 説を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句やキーワー ドを提示したり、制限 字数や時間を設け、「書 く」ことへの抵抗を少 なくする。 ・(記述による)解答 例を1, 2提示し、自 分のものと比較させ ながら重要ポイント をふまえた書き方を 確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小グループでの 話し合いや、一斉 授業の中で他者の 意見を聞くことで 自分の読みを深め させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・カード等を用い、 四字熟語や百人一首 、古典の暗記を個人 の力に合わせて進め る。 ・書写において、欠 点の指摘は最小限に とどめ、よい点がわ かるようにさせる。 |
| ま と め | <p>(授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を確認しながら、本時の授業内容のまとめをする。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な自己評価をさせる。 <p>(授業構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時の課題を知らせる。 <p>(授業規律)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材を整理させ、終わりのあいさつをしっかりとさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業の流れを振 り返り、わかったことを 確認し次回へ興味・関心 をつなげていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・重要度に応じて話し 方などを工夫し、内容 の確認をさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分で「書くこと」 が大切だということ を確認させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・板書とノートや ワークシートを見 直ししながら、本時 の内容のまとめを する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習のための 漢字練習プリントを 配布し、学習のポイ ントと小テスト実施 日を連絡する。 |